

「せん妄発症と日本版抗コリン薬リスクスケール（JARS）との関連および予測能の検討」へご協力をお願い

【目的】

せん妄は入院期間の延長、転倒・転落リスクの増大などを引き起こすため早期の介入が重要であり、当院では認知症・せん妄ケアサポートチーム(DST)が週1回活動しています。せん妄は覚醒レベルの維持や記憶、注意力などに重要な役割を果たすアセチルコリン系神経伝達機能の低下が主な病態と考えられています。したがって、抗コリン作用が強い薬物はせん妄を来しやすいが、抗コリン作用の強度とせん妄との関連について定量的に分析した報告は少ない状況です。今回、せん妄患者が服用している抗コリン薬の日本版抗コリン薬リスクスケール(JARS)との関連について調査したので報告します。

【研究の対象】

2024年1月～12月に認知症・せん妄ケアサポートチーム(DST)が介入した患者さんを対象といたします。

【研究の目的・方法】

電子カルテを用いてせん妄の有無、年齢、性別、認知症発現の有無、JARSスコアを後方視的に調査を行いました。せん妄の有無を目的変数とした2群間の量的比較にはMann-WhitneyU検定、多変量解析にはロジスティック回帰分析を用いました。カットオフ値はreceiver operating characteristic 曲線を用いて算出しました。日常診療にて得られた情報を使用するため、改めて患者様に治療、検査を行うことや、追加でアンケートを行うことはありません。

【研究期間】

倫理審査委員会承認日より2026年3月31日迄

【外部への試料・情報の提供について】

ありません

【個人情報の取扱いについて】

(記入例) 本研究は「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従って実施します。個人情報の漏洩を防ぐため、臨床研究に関する氏名等の個人情報は削除し、第三者が個人情報を閲覧できないようにしております。

また、本研究の実施過程、および結果の公表(学会発表、論文発表)の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれないように配慮しています。

【医学上の貢献】

日本版抗コリン薬リスクスケール(JARS)を用いることで、抗コリン作用薬を定量化し、せん妄の発症の予防に繋がります。

【問い合わせ窓口】

本研究に関するご質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
情報等が当該研究に用いられることにご了承頂けない場合には研究対象としません
ので、下記連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じる
ことはありません。

研究責任者

国立病院機構 別府医療センター 薬剤部

氏名 古賀亮次

連絡先：〒874-0011 別府市大字内かまど 1473 番地

電話：0977-67-1111 FAX：0977-67-5766